

# 建築科 4年連続の総合優勝

工高祭応援号6

## クラスが一致団結した 「1・2年の頑張りに感謝」

第49回工高祭が7月5、6日に開催された。表彰式は10日1時間目の壮行式の前に、行なわれ、総合優勝は建築科、2位は土木科、3位は電気科だった。建築科が総合優勝するのは令和3年の工高コンを含めて4年連続となる。また、今回は各学年の総合ですべて建築科が優勝した。

建築科3年H R委員長の西條えれなさんは総合優勝した感想を「3連勝していたのでプレッシャーがあった。クラス全員で一致団結し、1位を

### 建2 楽しんで作業できた

#### 建1 自分たちの役割を果たす

建築科2年の総合優勝について、H R委員長の谷口空晴君は「工高祭に雰囲気良く取

り組み、クラス全員で1位を取れたので良かった。勝因はクラス皆で楽しんで作業でき

総合優勝の表彰を受ける西條さん



目標にしてクラスステージやクラス企画、模擬店、科展示

生徒会役員に工高祭の感想を取材した。会計長の高尾朋矢君(情3)は昨年に引き続き模擬店の係を担当した。良かった点を「途中で雨が降ってきたが客足は減らず、売り切れる店も出て盛り上がった。全体の雰囲気も良く、片付けも綺麗にしていた。生徒会顧問の先生や役員の協力によって成功した」と話した。また「昨年は担当者を何回も呼び出したり、進行がうまくいかなかったりしたが、今回は事前に準備して対応できた」と語り、「期末テストや野球の全校応援から連続して工高祭になったため、もう少し余裕を持って日程を組むべきだった」と反

### 生徒会執行部 事前準備を重ね対応 タイムテーブルを見やすく

これまで丁寧で奇麗に行なってくれたので来年度以降も続けてほしい」と要望を話した。副会長の橋本壮真君(建3)は昨年に引き続きクラスステージの係を担当した。良かった点を「生徒会役員全員が自分の仕事を分かっている、スムーズに進行することができた」と語った。また「昨年は体育館でのリハーサルがうまく進められなかったため、今回はタイムテーブルを見やすくプリントにまとめた」と話し、反省点を「当日に結果を発表しなかったが、連携がうまく取れず後日になってしまったこと」と話した。後輩に「今年の工高祭は成功できたので、来年も頑張っていきたい」と話した。

## 工高祭結果

総合  
1位 建築科  
2位 土木科  
3位 電気科

1年クラス企画  
1位 建築科 土木科  
3位 電気科

2年クラス企画  
1位 土木科  
2位 建築科  
3位 電子機械科

3年クラス企画  
1位 建築科  
2位 土木科  
3位 電子機械科

1年クラスステージ  
1位 工業化学科  
2位 土木科  
3位 情報技術科

2年クラスステージ  
1位 土木科  
2位 建築科  
3位 情報技術科

3年クラスステージ  
1位 電子機械科  
2位 情報技術科  
3位 電気科

垂れ幕  
1位 建築科  
2位 電子機械科  
3位 電気科

1年総合  
1位 建築科  
2位 土木科  
3位 情報技術科

2年総合  
1位 建築科  
2位 土木科  
3位 情報技術科

3年総合  
1位 建築科  
2位 電子機械科  
3位 電気科

工高祭が7月5、6日に行なわれた。私たち3年生にとっては最後の工高祭となった▼私たち電気科のクラスステージは「ポケットモンスター」の寸劇を披露した。内容はポケモンバトルを再現するというもの。メンバーは私を含め10人。3人がポケモン役を演じ、私は主役のサトシを演じた。最後はポケモンのオーピング曲である「アローラ」を私が熱唱し、メンバー全員で合いの手や手拍子をして会場を盛り上げた▼元々私はクラスステージの担当ではなく、サトシ役を頼まれていた。寸劇の最後に何か盛り上がりが必要だったので「自分がアローラを歌う」と提案した▼当日、本番直前にメンバー全員で陣を組み気合を入れた。最初は心臓がバクバクだったが、実際にステージの上に立ってセリフを発すると会場は大盛況。うれしくなり私もノリノリに演じた。歌のパートになる頃にはとても楽しくなったので全力で歌い切れた。激しく動き回りながら大声で歌ったのは人生で初めてだった。貴重な経験になった。歌の最後に「アローラ」と皆で叫ぶフレーズがあり、観客全員に言うてほしいと思った。私がマイクを観客に向けて大勢の人が「アローラ」と叫んでくれたので完璧なフィナーレを飾れた▼最初はどうか分かんなかったが、大成功を収めることができた。最後の工高祭にふさわしい最高の思い出になった。皆もポケモンゲットだぜ。(電3佐々木)



# 有志4人組がバンド演奏 「準備をなるべく早く」

工高祭2日目の7月6日に  
行なわれた有志ステージに、



ギター担当の吉井暖人君(土3)、ドラム担当の蒲原陸斗君(土3)、ベース担当の関根悠翔君(電3)、ボーカル担当の平田敦梓君(情3)の4人組バンドがKing G nuの「飛行艇」と「一途」の2曲を演奏した。

吉井君は「期末テストや全校応援があり、練習時間が少なかった。一曲目の『飛行艇』は満足のいくでできたが、二曲目の『一途』は勢いで演奏してしまい連携がうまく取れなかった」と話した。後輩に向け「来年有志ステージに出る人は準備をなるべく早くした方が良い」とアドバイスした。

## 定時制軽音部

### 2バンドで4曲を披露 「盛り上がって悔いなし」



熱唱したボーカルの平田君(中央)

ハイテンポな演奏のcatdoox

熱い演奏のやらかしボーイズ

定時制軽音部の6人は「catdoox(キャットドックス)」と「やらかしボーイズ」の2バンドで演奏を披露した。演奏した曲はcatdooxはMONGOL800の「小さな恋のうた」、Humpbackの「拝啓、少年よ」の2

back numberの「高嶺の花子さん」だ。曲は知名度やお客さんが盛り上がるかどうかで決めた。メインボーカルを担当した部長の鈴木優君(電4)は「昨年よりも人がたくさん来ていてうれしかった。最後に

ふさわしく盛り上がっていて悔いはない。今後は1年に2回、9月と来年3月にある『あそびば(旭川市北彩都子ども活動センターASOBIBA)』のイベントに出るので、そこで盛り上げられるように頑張る」と語った。

## 優勝は建築科 コマごとに担当を分ける

垂れ幕の優勝は建築科だった。製作期間は1週間で1

3年生9人が担当した。リーダーの野崎留菜さん

(3年)は「昨年は最下位で悔しかったため優勝を目標に製作していたのでうれしい」と感想を語り、デザインについて「コマごとに担当を分けて、1番上のコマとコマ以外の部分を3年生、2コマ目と4コマ目を2年生、3コマ目に頑張ってもらいたい」と語った。



優勝した建築科の垂れ幕  
学年ごとに分業して製作した

## 漫画世界と現実を表現 音響効果に優れる

### 演劇部



演劇部は視聴覚系でジャーニー作の「探偵三井は殺させない」を上演した。漫画家が自分の作品内で主人公の探偵を殺してしまう、その後どう作品をつなげていくか編集者と議論するとい

は部員19人で分担し大道具作りや舞台監督、照明、環境音で劇のリアリティを上げる音響などをした。主人公の漫画家を演じた部長の鈴木太智君(情3)は「漫画世界を再現するシーンと現実世界をしっかりと分けた。主人公2人のせりふが長く、覚えるのが大変だった。立って見る観客もいて劇が終った後、観客から『おもしろかった』と言ってくれたので達成感があった」と話した。

## 巨大オブジェ

### ドラゴンボールの神龍 目が合うように工夫 雨対策で強度を高める



生徒玄関前に現れたドラゴンボールをくわえた神龍

巨大オブジェの「神龍(しえんろん)」は生徒会役員2人と1年生36人、2年生1人、

3年生6人が6月25日に製作を始め工高祭当日の7月5日に完成した。製作は工高祭の準備時間と平日の放課後18

と平日の放課後18時、土日の9時、13時に続いた。最初はスタンプラリーを実施しようと考えていたが、骨組みと紙を貼るのに時間がかかってしまい、ドラゴンボールを7個製作する予定が5個しかできず、実施できなかった」と話した。